

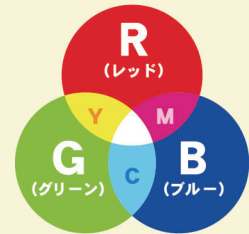
RGBカラーとCMYKカラーについて

RGBカラー

光の三原色「R(赤)・G(緑)・B(青)」のことを **RGBカラー**とといいます。

パソコンのディスプレイ(モニター)やデジカメ、スキャナなどは、このRGBカラーで色が表現されています。

これらは混ぜれば混ぜるほど色が明るくなり、白色に近づいていくため『加法混色』と呼ばれています。



RGBカラー
(光の三原色)

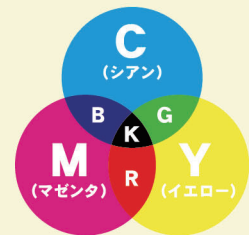
CMYKカラー

色料の三原色「C(シアン)・M(マゼンタ)・Y(イエロー)」のことを **CMYカラー**とといいます。

インクジェット印刷では、きれいな濃い黒色を表現するために、シアン(C)・マゼンタ(M)・イエロー(Y)に**ブラック(K)のインクを加えた4色(CMYKカラー)**でフルカラーを表現しています。

CMYカラーは、混ぜれば混ぜるほど色が暗くなり、黒色に近づいていくため『減法混色』と呼ばれています。ただ、実際にはどんどん濁った灰色になっていき、一般的にイメージする黒色にはなりません。

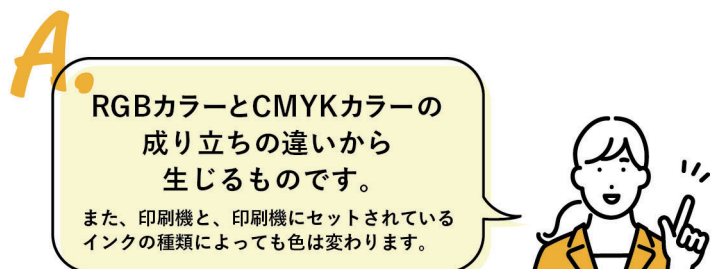
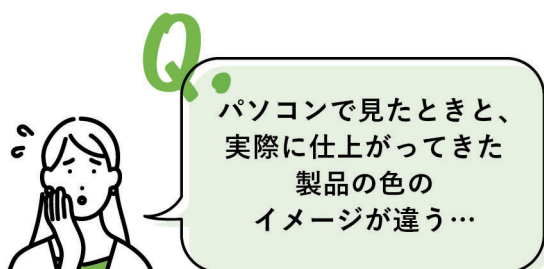
使用しているインク以上に鮮やかな色は、表現が困難(色を混ぜれば混ぜるほど濁った色になるため)です。また、色の明るさについても、インクを乗せる生地がどの程度光を反射するのかによって変わりますので、色そのものの明度についても調整はできません。



CMYKカラー
(色料の三原色)

ご入稿データは、
必ず**CMYKカラー**での作成をお願い致します。

パソコンの画面と実際の印刷物の色の違いについて



パソコン(モニター)に映る色と実際の印刷物の色は異なりますのでご注意ください。
デザイン上に表現したい色がある場合には、色合わせのご指示をお願い致します。

色合わせについて

色合わせの種類

色合わせは、大きく分けて以下の2種類の方法がございます。

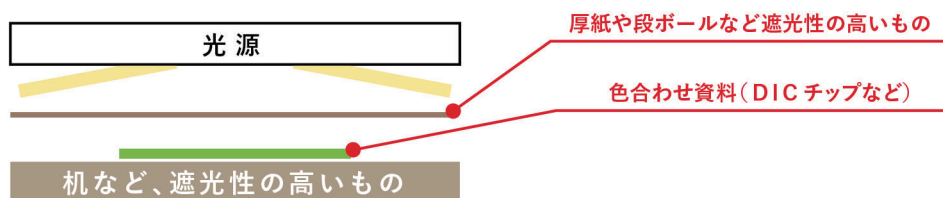
※どちらも弊社で出力可能な色域内での色合わせとなります。

① 色の見本（現物）を弊社にお送りいただき、見本を参考に色を合わせる

色の見本（現物）を確認させていただいた後、合わせられる色かどうかを判断させていただきます。

② DIC番号で色を合わせる

DIC番号の指示をいただいた後、合わせられる色かどうかを判断させていただきます。



色合わせを行う場合には、光量を同程度にするために背面からの光の透けと、直射光を遮るようにした状態で色を見比べます。

色見本の分光特性（波長毎の反射の強さ）を一致させることが必要だからです。言い換えると、使用されている色の素であるインク（染料、顔料）の種類とメディア（紙や布など、色が乗っている素材）を一致させるということです。

ところが、同じインク、同じ生地の色見本を用意することは現実的に考えて困難なケースがほとんどです。そこで、直射光による反射と、裏面からの透けを極力排除することで近似色を見極めるため、上記のような方法を取っています。もちろん、完全に光を遮ってしまうと当然真っ暗になってしまいますので、遮るのはあくまでも直射光だけです。

色合わせの納期

DIC 色合わせの場合 +2 営業日

資料や現物色合わせの場合 +3 営業日

追加で納期がかかります

CMYKカラーは色の割合のため、同じ値でも出力する機械やインク、素材、印刷方法によって色が異なります。

お客様のイメージ通りの色に仕上げたい場合は、事前に色校正を作成されることをおすすめしております。

※色校正には別途費用がかかります。

お問い合わせは各営業担当までお願い致します。